

生命倫理

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：講 義

単 位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：インフォームド・コンセントが生命倫理の核にあるのは明らかだが、決定主体である自己をどのようにとらえるべきかは明らかではない。この講義では、従来の生命倫理が前提としてきた自己像を批判的に検討し、あるべきインフォームド・コンセントの姿を模索したい。受講者には、その過程でさまざまな倫理的問題について自ら考えてもらうことになる。

■**到達目標**：①決定主体である自己の成立基盤を理解する。
②倫理的諸問題について自ら考える力を養う。
③自分自身の考えを正しく表現する力を養い、コミュニケーション能力の向上をはかる。

■**担当教員**：

村上 友一

■**授業計画・内容**：

- 第1回 自己決定権とその思想的背景
- 第2回 自由主義の帰結
- 第3回 カントのリバタリアニズム批判
- 第4回 自己決定の成立基盤としての平等
- 第5回 平等概念の再検討（1）
- 第6回 平等概念の再検討（2）
- 第7回 自己と共同体の関係を問い直す
- 第8回 自己の成立基盤としての共同体：国家・家族・自己

■**教科書**：特に指定しない。授業内で資料を配布する。

■**参考文献**：授業内で紹介する。

■**成績評価基準と方法**：期末レポート（70%）、授業内レポート（30%）により評価。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
期末レポート	○	◎	◎	自分自身で考え、自らの意見を適切に表現しているか。	70
授業内レポート		◎	◎	問題の理解度、思考の進度	30
出席				2/3以上の出席。	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業内で提示される問いに主体的に取り組んでください（その時間は、学生同士の私語（?）を許可します）。この授業では、「自分自身で考えること」が要求されます。期末レポートの評価でも、「自分自身で考え、自分の意見を正しく表現すること」を重視します。